

京・大山崎町 まちあるきマップ

1 離宮八幡宮



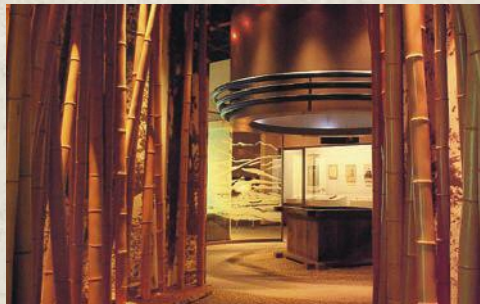
5 宝積寺 (宝寺)



9 旗立松・展望台



14 大山崎町歴史資料館



凡例

- 「秀吉の道」陶板画A~F
- 天王山ハイキングコース
- 高速道路
- 国道
- 府道
- 町道
- 徒歩のみ
- バス停
- 駐車場
- 観光案内所
- レンタサイクル
- タクシー乗り場
- スーパーまたはコンビニ
- パン
- カフェ
- 居酒屋
- レストラン
- 和食
- お好み焼
- W.C 観光トイレ

0m 250m 500m

発行／大山崎町役場総務部企画財政課
〒618-8501 京都府乙訓郡大山崎町字円明寺小字夏目3番地
TEL.075-956-2101 FAX.075-957-1101
http://www.town.oyamazaki.kyoto.jp/
協力:大山崎町商工会 第5刷(店舗情報は2023年7月現在)



駅周辺拡大図



1

離宮八幡宮

〔祭神・八幡大神 酒解大神、姫三神〕 Rikyuhachimangu Shrine



貞観元（859）年に大和安寺の僧、行教が清和天皇の命を受け豊前国宇佐から八幡神を嵯峨天皇が宮んだ河陽離宮に分祀したことに始まります。平安時代の末に神宮が「長木」という搾油機を考案して始まった荏胡麻油生産が活発化すると油座が結成され、神社は座の会所となり大いに繁栄しました。室町時代になると大山崎油座は九州北部から美濃地方まで独占販売するほどになり、大山崎は幕府から自治権を認められ自治都市として独自の発展を遂げました。八幡宮はいわば大山崎のシンボルで、今も油の神様として厚い信仰を集めています。

PS

パワースポット

天神腰掛石、座れば学業成就

P

JR山崎駅から徒歩すぐ
約0.1km（駅前）
TEL. 075-956-0218

5

天王山 宝積寺（宝寺）

〔宗派・真言宗智山派〕 Hoshakuji Temple（Takara Temple）



寺伝によると神亀元（724）年、聖武天皇の勅願により行基菩薩が開基したと伝えます。寺宝を多く有し、建造物では桃山時代建立の秀吉「一夜の塔」と呼ばれる三重塔が重要文化財、本堂及び山門は京都府の登録文化財に指定されています。また、美術工芸品では本堂内安置の本尊十一面観音菩薩立像、仁王門の金剛力士像及び収蔵庫に安置される閻魔王と眷族像が重要文化財に指定されています。どの仏像も鎌倉時代の作品で優美で躍動感に溢れています。特に閻魔王と眷族像は見る者を圧倒する迫力があり必見です。

PS

パワースポット

秀吉出世石、座れば出世

P

JR山崎駅から徒歩15分
約0.7km

WC

TEL. 075-956-0047

9

旗立松・展望台

Hatatatamatsu・Observatory



天王山山頂へのハイキングコースの8合目付近にあるのが旗立松です。天正10（1582）年6月に起こった天下分け目の戦い「山崎合戦」の時、羽柴（豊臣）秀吉が味方の士気を高めるため老松の樹上高く千成瓢箪の旗印を掲げたところ、戦局が優位に動いたといわれています。現在の松は7代目と言われています。また、展望台の眼下には淀川の流れ、京都盆地が望め、「京都自然200選」にも選ばれたパノラマビューは必見です。

PS

パワースポット

三川合流のパワーが集まる

JR山崎駅から徒歩35分
約1.2km

13

小倉神社

〔祭神・武甕槌神 斎主神 天児屋命 比売大神〕 Ogura Shrine



神社の伝えによると、奈良時代の養老2（718）年に鎮座したと伝えられます。桓武天皇の平安遷都にともない大内裏の鬼門除けとして祈願され、文徳天皇の嘉祥3（850）年神階最高位を賜り「正一位小倉大明神」と号したと言われます。天正10（1582）年6月に起こった山崎合戦に際し、羽柴（豊臣）秀吉は家臣の片桐祐作を本社に遣わし戦勝祈願をしたといわれます。小倉は天王山の山裾で「小啗い」場所から地名が生まれ神社名になったと考えられます。小泉川流域の広い範囲に氏子園を持っています。

PS

パワースポット

秀吉も戦勝祈願

P

阪急西山天王山駅から徒歩22分
約1.2km

WC

TEL. 075-956-2044

2

豊興山 妙喜庵

〔宗派・臨済宗東福寺派〕 Myokian Temple



俳諧の祖、山崎宗鑑が室町時代後期に庵を結んだ跡を東福寺の春嶽禪師が寺に改めました。天正10（1582）年6月に起こった山崎合戦で勝利した羽柴（豊田）秀吉は、天王山一帯に城を築き茶聖千利休も大阪から呼び寄せ城下に住ませました。利休屋敷に設けられた小間の茶室（待庵）は後、親交のあった妙喜庵3世功叔士紡に譲られ当庵に伝わることになったと考えられます。数寄屋作りの原点と言われ、最初ににじり口が設けられた茶室と言われます。細部に利休の非凡さがうかがえる国宝建造物中極小の建物です。（写真：待庵室内）

要予約・有料

TEL. 075-956-0103

往復はがきで1ヶ月前までに予約申込みが必要（団体・子供不可）
〒618-0071 大山崎町字大山崎小字竜光56

JR山崎駅から徒歩すぐ
駅前

6

妙音山 観音寺（山崎聖天）

〔宗派・真言宗 単立〕 Kannonji Temple（Yamazaki Shoten）



平安時代に宇多天皇（寛平法皇）の勅願で開山されました。その後、江戸時代に木食以空が中興開山し塔堂を整えました。本堂横に聖天堂があり江戸時代には現世利益を求めた大阪の商人の厚い信仰を受け大いに隆盛しました。豪商住友家も帰依し、立派な青銅製の灯籠を寄進しています。幕末、元治元（1864）年に起こった禁門の変の余波で全焼し、明治時代になって伽藍が復興しました。境内は広く秋の紅葉、春の桜が楽しめます。

PS

パワースポット

灯籠にタッチ、商売繁盛

P

JR山崎駅から徒歩20分
約0.9km

WC

TEL. 075-956-0016

10

十七烈士の墓

Jushichiresshi Tomb Stones



十七烈士の墓は、禁門の変(1864年)の時、戦いに敗れ天王山山中で自刃した隊長、真木和泉守以下十七名の眠る墓で、天王山中腹にあります。彼らは新政府樹立を夢見て革命を図りましたが時熟せず失敗に終わり、後の時代に夢を託して散っていったのでした。新政府の誕生は変の4年後のことでした。毎年10月21日には十七名の冥福を祈り招魂祭が行われています。

JR山崎駅から徒歩40分
約1.3km

14

大山崎町歴史資料館

Oyamazaki Museum of History



平城京、長岡京、平安京の3都の玄関口で、交通の要衝として栄えた大山崎町は歴史の宝庫と言えます。古代のコーナーでは交通の要衝の礎となった行基架橋の山崎橋、山崎院の姿や平安時代の賑わいを考古資料を中心に説明し、中世のコーナーでは荏胡麻油生産で賑わった町の様子を離宮八幡宮文書等の史料や映像で紹介しています。天下分け目の戦い「山崎合戦」も映像と地図で分かりやすく見ることができます。茶聖千利休が建てた待庵の原寸大模型（写真）も必見です。町歩き前に是非とも訪ねてください。

有料

休館日 月曜（月曜が祝日の場合火曜）

TEL. 075-952-6288

P

JR山崎駅から徒歩5分
約0.25km

WC

3

見佛山 大念寺

〔宗派・浄土宗知恩院派〕 Dainenji Temple



町が荏胡麻油生産で栄えていた室町時代後期に八幡宮の社家であった井尻長助が浄土宗知恩院の第27世徳誉光然を迎え開山しました。光然は正親町天皇の生母吉徳院を妹にもち、その背景から大念寺は永禄元（1558）年には天皇から綸旨を賜り、勅願寺に指定されました。元治元（1864）年に勃発した禁門の変では長州軍の駐屯地となったため戦火に遭い、全てを失いました。明治に入り近隣の廃仏毀釈で廃寺となった寺院の建物を移築して今日の寺観となりました。寺宝に重要文化財の阿弥陀如来立像（写真）があり、胎内文書によると鎌倉時代の仁治四（1243）年に後鳥羽院の皇子、道覚法親王や法然門下の人々が中心となって造立されたことがわかります。82cmと小振りながら天台様式の様を示す優品です。

仏像拝観要予約

TEL. 075-956-0762

JR山崎駅から徒歩10分
約0.4km

7

アサヒグループ大山崎山荘美術館

Asahi Group Oyamazaki Villa Museum of Art



関西で活躍した実業家の加賀正太郎が、大正・昭和初期に建築した英国風邸宅を改修し平成8年に美術館として開館しました。アサヒビール初代社長山本爲三郎が支援していた河井寛次郎や濱田庄司、バーナード・リーチ等の民芸運動の旗手たちのコレクションを本館に、アサヒグループが所蔵しているフランス近代絵画印象派の巨匠モネの睡蓮などを新しく建築した安藤忠雄氏設計の「地中の宝石箱」に展示しています。当美術館は美術品、庭園、景観、建築と季節毎に楽しめる心癒される空間です。

有料 休館日 月曜（月曜が祝日の場合火曜）

TEL. 075-957-3123

WC

JR山崎駅から徒歩10分
約0.7km

11

たまでよりまつりきたるさかとけじんじや
自玉手祭来酒解神社

〔祭神・酒解大神〕 Tamateyorimatsurikitaru Sakatoke Shrine



大山崎地域の産土神。明治時代以前は天神八王子社と呼ばれ、牛頭天王を祭神としていました。天王山の名は祭神の牛頭天王の天王から由来しています。本殿は江戸時代後期の建築で国の登録文化財に指定されています。また、本殿横にある神輿庫（写真）は板倉形式では我が国で一番古く、鎌倉時代前期の建築で重要文化財に指定されています。

JR山崎駅から徒歩45分
約1.6km

行事・祭り			
1月中旬	午後2時～	どんど祭	離宮八幡宮
1月16日	午前11時	天尊御縁日(福ぜんざい接待)	観音寺
2月 3日	午後2時～	節分会星祭	宝積寺(宝寺)・観音寺
2月 3日	午後2時～	節分祭・鬼やらい・豆撒き	小倉神社
4月初旬(日曜)	午前11時～	お花祭	観音寺
4月上旬(日曜)	午前11時～	日使頭祭	離宮八幡宮
4月第3土曜日	午後2時～	大厄除遣儀式(鬼くすべ)	宝積寺
5月3日・4日	午前11時～	自玉手祭来酒解神社神幸祭	自玉手祭来酒解神社
5月3～5日	午前11時～	春祭り(神幸祭・還幸祭)	小倉神社
8月16日	午前9時～	天尊御縁日(かき氷接待)	観音寺
8月23日	午前11時～	油の日祭り	離宮八幡宮
9月15日	午前11時～	秋の大祭(湯立て神事)	離宮八幡宮
11月16日	午前9時～	謝恩大浴供(大根だき接待)	観音寺
11月23日	午前11時～	冬至祭大黒天福祭	宝積寺(宝寺)
12月16日	午前9時～	納め聖天	観音寺
※行事によっては年により日時の変更がある場合があります。詳しくは各社寺等にお問い合わせください。			

花の開花時期		
桜	4月初旬	・アサヒグループ大山崎山荘美術館 ・観音寺・円明教寺
新緑	4月下旬	・天王山ハイキングコース一帯
あじさい	6月中旬～	・自玉手祭来酒解神社
紅葉	11月中下旬	・アサヒグループ大山崎山荘美術館 ・聴竹居・観音寺・宝積寺(宝寺)
ツバキ	1月上旬～	・自玉手祭来酒解神社

レンタサイクル

S-style大山崎

TEL:075-953-7519

※身分証明証が必要です。

タクシー

都タクシー株式会社無線センター

TEL.075-661-6611

観光案内所

JR山崎駅内「おおよまざきナビ」

4

聴竹居

Chouchikukyo



聴竹居は京都帝国大学で建築学の教鞭をとった藤井厚二が昭和3（1928）年に建てた環境共生住宅の先駆けです。藤井は大正9（1920）年、同大学講師就任を機に大山崎の天王山山麓に約12,000坪の土地を購入し、自らの設計で自邸を建てました。住みながら様々なデータを取り、次に建てる自邸の設計に生かし、日本の気候風土に適応した「日本人のための住宅」を追い求めました。その完成形として建てられたのが第5回自邸 聴竹居です。「日本のモダンズム建築20選」にも選ばれた住宅で、平成29（2017）年7月には昭和に建てられた建築家の自邸として初めて国の重要文化財に指定されました。

要予約・有料

TEL 075-956-0030

URL http://www.chochikukyo.com

JR山崎駅から徒歩8分
約0.4km

8

天王山ハイキングコース（地図面A・B参照）

「秀吉の道」陶板画 The Ceramic Sign Hideyoshi's Way



ハイキングコースを「秀吉の道」と名づけ、山頂までに羽柴（豊臣）秀吉の天下取りの物語を解説する案内板が美しい陶板で製作されています。アサヒグループ大山崎山荘美術館入口トンネル前のA「本能寺の変」に始まり、青木葉谷展望広場のB「秀吉の中国大返し」旗立松・展望台のC「頼みの諸将来たらす」D「山崎合戦」、酒解神社のE「光秀の最期」などを経て山頂のF「秀吉の覇権」で完結します。これらの美しい陶板画を鑑賞しながら、天王山のハイキングを楽しんでみてください。

JR山崎駅から徒歩15～55分
約0.7～2.0km